

2、エチケットでいう「TPO」、読解でいう「文脈」、作文でいう「5W1H」

TPO ; 手習い歌 ⇔ 辞書の索引

文脈 ; 春夏秋冬思恋 (8 * 6 = 48) ⇔ 仏教思想の普及 (7 * 7 = 47 + 2)

5W1H ; ⇔ 正数8 (何を、いつ・どこで、だれが・だれに・どのよう どうした・なぜ)

何を	いつ	どこで	だれが	だれに	どのように	どうした	なぜ
あめつち	古今集後	権門	かな字学	初学徒	漢詩モデル	つくった	?
いろは	新古今集後	宗門	語彙学	中学徒	誦文モデル	つくった	?

漢文・対句

かな字	あめ	つち	ほし	そら
	やま	かは	みね	たに
千字文	天	地	玄	黄
	宇	宙	洪	荒
復元語源	天子	土由	玄亥・洪水	黄寅・曠荒
義	↓	↑	黄寅・玄亥	洪水・旱魃
対語	雨・土	干し・空	山・川	峯・谷

技術・合理性

訓詁	かな字	現代語	外延	内包
	あめつち	雨・土	動体・終点	天為
	ほしそら	干し・空	干し物・自然環境	人為
	やまかは	山・側	中高・側面	測地
	みねたに	峰・谷	分水嶺・出水域	治水
	くもきり	雲・霧	外部認識・内部認識	移動
	むろこけ	ムロ・苔	人工環境・出来物	変化
	ひといぬ	人・犬	殿上人・地下人	男社会
	うへすゑ	上・末	上臈・お末	女社会
	ゆわさる	呻わ・ざる	未然・連体	決意・無為
	おふせよ	呻わおふ・呻わせよ	自発・命令	行為
	えのエを	兄の・衛ヲ	所有格・対格	空間関係
	なれゐて	衛ニなれ・衛ヅゐて	実現・維持	時間推移

文脈 ; 春夏秋冬思恋

訓話；中等教育の知識を総動員して平安中期の生活風景を浮かび上がらせる				
1	春	雨が土にしみこみ芽がいつせいで出てくる	天為	↓ ↑
		一日が長くなり干し貝作業もすすむ	人為	↑ ↓
2	夏	山を拓きカタハラに草木を植える	人為	農耕
		怖いのは龍神さま、洪水よ	天為	水神
3	秋	秋の長雨、雲霧はれぬ憂き	天為	日神
		室では酒造り、麴を醸せば鱗がういてくる	人為	醸造
4	冬	収穫のおふるまい、飲めや唄への人と犬との無礼講	男	はれ
		ご馳走づくり、機織と、上もお末も女たちは大いそがし	女	け
5	思	神わざる；人は黙って考える	思考	知
		神わおふとは自らの意志、神わせよとはお上の意思	行為	意
6	恋	兄の衛を慕う	思慕	情
		兄の衛になれ、兄の衛であて	暮らし	のぞみ

3、なぜ？

本来は科学の解決すべき課題ではない。だが、知りたい！

ならば、できるだけ多面的なアプローチを試みるべき。

- ① 外への連関； ●『千字文』→ 宇宙観
 - ◎ 阿女都千 vs 安女川知
- ② 内での関連； ●『宇津保物語；あめつちそ』→水神信仰
 - ◎ あめつち→十め・め・つ・つ十
- ③ 先行研究の方法論
 - ゲシュタルト心理学「富貴卑賤は同源」⇔「凸凹同源」
 - 幸田露伴「音幻」； フンボルト
 - 柳田国男「周圏分布」；ポアズ
 - 折口信夫「逆語序」；ソシュール
 - 暗号論 「小倉百人一首；織田正吉、林直道」
- ④ 訓話学の再構築；『かなづかい入門 p136；白石良夫』

天地玄黄	宇宙洪荒
日月盈昃	辰宿列張
寒来暑往	秋收冬蔵
閏余成歳	律呂調陽
雲騰致雨	露結為霜
金生麗水	玉出崑崗
劍号巨闕	珠称夜光
菓珍李奈	菜重芥薑
海鹹河淡	鱗潜羽翔
竜師火帝	鳥官人皇
始制文字	乃服衣裳
推位讓国	有虞陶唐

図；凸凹同源

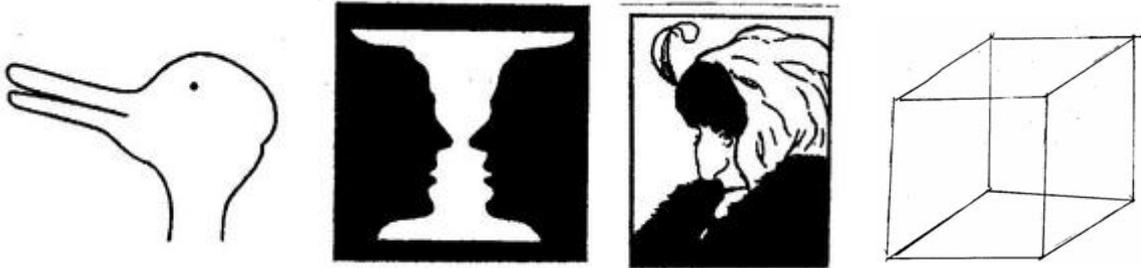


表5 カタカナのもとになった万葉仮名

ワ (和)	ラ (良)	ヤ (也)	マ (万)	ハ (八)	ナ (奈)	タ (多)	サ (散)	カ (加)	ア (阿)
ヰ (井)	リ (利)		ミ (三)	ヒ (比)	ニ (二)	チ (千)	シ (之)	キ (幾)	イ (伊)
	ル (流)	ユ (由)	ム (牟)	フ (不)	ヌ (奴)	ツ (川)	ス (須)	ク (久)	ウ (宇)
エ (慧)	レ (礼)		メ (女)	ヘ (部)	ネ (禰)	テ (天)	セ (世)	ケ (介)	エ (江)
ヲ (乎)	ロ (呂)	ヨ (与)	モ (毛)	ホ (保)	ノ (乃)	ト (止)	ソ (曾)	コ (己)	オ (於)

表6 ひらがなのもとになった万葉仮名

わ (和)	ら (良)	や (也)	ま (末)	は (波)	な (奈)	た (太)	さ (左)	か (加)	あ (安)
ゐ (為)	り (利)		み (美)	ひ (比)	に (仁)	ち (知)	し (之)	き (幾)	い (以)
	る (留)	ゆ (由)	む (武)	ふ (不)	ぬ (奴)	つ (川)	す (寸)	く (久)	う (宇)
ゑ (恵)	れ (礼)		め (女)	へ (部)	ね (禰)	て (天)	せ (世)	け (計)	え (衣)
を (遠)	ろ (呂)	よ (与)	も (毛)	ほ (保)	の (乃)	と (止)	そ (曾)	こ (己)	お (於)

日本語の歴史；山口仲美